

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	身体拘束をしないケアの実践について、①指針が作られていない。②虐待防止の指針。③委員会設置。④職員への勉強会。	施設での身体拘束の指針を作り、きちんと利用者家族様への説明をする。職員全員に身体拘束、虐待をしない、させないを心掛けてもらう。	①②身体拘束、虐待防止の指針を早急に作成。③委員会設置は指針に記載する。④職員には毎年勉強会や資料に目を通してもらいそれぞれの意見を聞き、話し合いの場を設け意識を徹底させていく。	12ヶ月
2	35	災害対策について①コロナ禍の為併設している病院と防災訓練ができていない。②施設内で飲料水食料の備蓄が確保されていない。	コロナ禍の為、合同での訓練は現在出来ていないので、今後再開を検討する。合同訓練が出来ない間は、施設内での訓練をしっかりと伝えていく。	①コロナ禍の為、併設している病院とは合同訓練は出来ていないが、しっかりとした連携は取れている。今後の状況で合同訓練も再開を検討する。すると考えられる。②災害時は併設している母体病院での受け入れ体制はできている。飲料水食料も母体病院でグループホームの分も備蓄している。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月